

集会案内

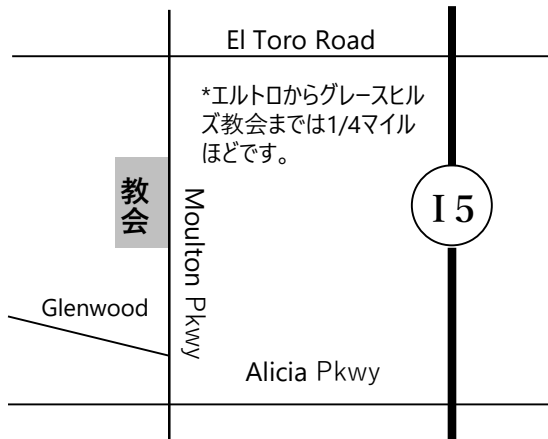
毎日曜日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月 1 回： 家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
1 0 : 3 0 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第 1 バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 13 年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



ホームページ: www.irvinenihongokyokai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先:

杉村 宰 牧師 電話：(714) 527-1456
Eメール: sugimura1950@gmail.com
田畑 彰 牧師 電話：(949) 701-6502
Eメール: mt.moriya77@gmail.com

◎石叫 ■ 「センチネル・ドームの松の木」
この十一月の初旬、またしてもヨセミテを訪問した。僕は一九七三年の同じ頃にヨセミテを訪ねた時、ヨセミテ滝は轟音と共に流れ下っていたのだが、今回は一滴もない。だが、いつ見てもヨセミテはその壮大さのゆえに心に迫る。さて、今回の旅で一番心に残ったのは、家内と一緒にセンチネル・ドームに登った時のことだった。ヨセミテのシンボルであるハーフ・ドームを目の前で見られるグレイシャー・ポイントに行く途中からアクセスできる山だ。そこは道路脇から一マイルほどで行ける箇所、容易に山頂にまで行けるハイキングコースなので、今回もシーズンオフとはいえ、多くのハイカーが行き交っていた。その山頂からはヨセミテ渓谷が三六〇度見られるという所だ。そこにはアンセル・アダムスという日系社会にも良く知られた写真家が撮ったジェフリー・トリートというヨセミテ愛好家の目を惹いてきた松の木がある。山頂に身をくねらせるようにして屹立していて、凛としたその姿はヨセミテのシンボルともいえる存在であった。僕はこれまで何度かその木を写真でみてきたし、実際にも見て来たのだったが、近くにおいて、その木を説明してくれる人が言ってくるまで、これがアンセル・アダムスによって紹介されたものだったとは、つゆぞ知らなかったのである。だが一九七六年と一九七七年の旱魃によって枯れてしまい、十五年前に倒れてしまった。今はその木の根元しか残っていない。多くのハイカーがその枯れた木の一部に手を触れるからであろう、こぶのようになった箇所がひからびていた。かつては注目を浴びたその木が、今や老いて枯れるしかないその姿を見て、何ともいえず寂しくもあり、切なくもあった。イザヤ書に「わたしは、たなごころにあなたを書いたのではなく、彫り刻んだ」とある。神はご自身の手のひらに私たちの名前を書いたのではなく、彫り刻んだというのだ。神はそこまでして私たちに忘れられないようにされたのである。そこに神の愛がある。そのゆえに出エジプトの時にも、天からマナが降ってイスラエルの人々が養われたではないか。四十年間、安息日を除いて一度もマナの降らなかつた日はなかつたのである。神の世界に枯渇はない。むしろ霊的に「日ごとに新しくされてゆく」(2コリント四・16) 不思議な恵みの世界である。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。